

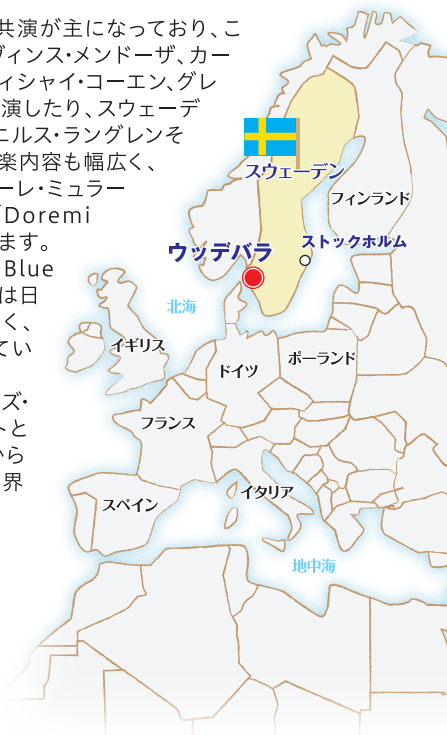


ボーhusレーン・ビッグバンド(BBB)

Bohuslän Big Band(以下BBBと略)の源流は、1720年にウッデバラ近郊に出来たスウェーデン陸軍師団所属の軍楽隊「ボーhus・パタリオン」迄遡る事が出来ます。1950年代に当時の軍楽隊のメンバー達が始めた「ウッデバラ・ビッグバンド」(Uddevalle Big Band)が、現在のBBBの発生の基礎となっております。1992年にウッデバラ・ビッグバンドという名称から現在のボーhusレーン・ビッグバンドに変更され、1998年には、練習場もウッデバラからイエーテボリに移転しました。2003年以降、BBBは国と県が建設したヴァーラ・コンサートハウス(Vara Konserthus)の所属アンサンブルとなって現在に至っております。

BBBの活動内容は、国内外の多くのアーティスト達との共演が主になっており、これまでクインシー・ジョーンズ、マリア・シュナイダー、ヴィンス・メンドーザ、カーラ・ブレイ、スティーブ・スワロー、ジョー・ロヴァーノ、アヴィシヤイ・コーエン、グレゴリー・ポーターと云った国外の有名アーティスト達と共演したり、スウェーデン国内からは、ベンクト・ハルベリ、ラーシュ・ヤンソン、ニルス・ラングレンその他多くの北欧のアーティスト達と共演して来ました。音楽内容も幅広く、スウェーデンのワールド・ミュージック界の重鎮であるアーレ・ミュラーと作成したCD作品「Pegasus」や児童向けのCD作品「Doremi Safari」はスウェーデン・グラミー賞にノミネートされています。BBBがピアニスト、ラーシュ・ヤンソンと制作した「The Blue Pearl」、「One Poem, One Painting」、「Temenos」等は日本の学生バンドや社会人ビッグバンドの間でも人気が高く、多くのビッグバンドでレパートリーとして取り入れられています。

“A World Class Jazz Orchestra”(国際レベルのジャズ・オーケストラ)、これは長年の活動に於いてBBBがゲストとして迎えたミュージシャン、ソリスト、作編曲家、指揮者から度々頂く賛辞です。伝統を守ると同時に常に創造性の限界に挑む、北欧を代表するビッグバンドであると言えます。



- 木管楽器** ヨアキム・ローランドソン、マッティン・スヴァン
 ストルム、ビョーン・セデルグレン、ミカエル
 ・カールソン、アルベルト・ピントン
- トロンボーン** ニクラス・リード、クリステル・オロフソン、ハンネ
 ・スモーヴィーク、イングリッド・ウットウネ
- トランペット** レーナート・グラーン、サムエル・オルソン、ロビン
 ・リードゥクヴィスト、ヤーン・エリアソン
- ピアノ** ステファン・ヴィングフェオシュ
- ドラムス** ヨーラン・クローン
- コントラバス&コーディネーター** 森 泰人(Mori Yasuhito)
- 日本人ゲスト・アーティスト** 木住野佳子(Kishino Yoshiko)、
 TOKU

ウッデバラ市

スウェーデン王国ヴェストラ・イエータランド県に位置するウッデバラ市。首都ストックホルムの西南西400キロ、スウェーデン第2の都市イエーテボリから車で1時間の所に位置しています。

ウッデバラ市と岡崎市の関係は、花崗岩の地盤の上に築かれた都市である縁で始まり、1968年(昭和43年)に姉妹都市の提携を結んで以来半世紀に渡り、両市の絆を深め、多くの市民交流を生み出しています。

また、今年は、日本とスウェーデンの外交関係樹立150周年の記念すべき年でもあります。



木住野佳子 [Kishino Yoshiko] (pf)

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部でクラシックを学び、卒業後、新たな方向性をジャズに求め、1995年名門レーベルGRPよりアルバム『フェアリー・テイル』で日本人初のインターナショナル・アーティストとして世界デビューを飾り、以降、毎年アルバムをリリースする。1999年発売の「You Are So Beautiful」はジャズでは異例の6万枚をセールスした。2002年にはピアノのパーゼンドルフアー本社(ウィーン)からオフィシャル・アーティストとして契約。

2015年にはCDデビュー20周年を迎えユニバーサルミュージックより、通算19枚目のアルバム「Anthology -20th anniversary-」をリリース、2016年にかけて、ブルーノート東京、ビルボードライブ大阪など全国10カ所で発売記念ツアーを行った。

過去のアルバムでは、スイングジャーナル誌ゴールド・ディスクを4回受賞している。演奏活動は毎年、年間40~50日のコンサート、ライブの他、海外でもニューヨーク、台湾、韓国、近年はスウェーデン、イタリア、フランスでも演奏活動を行う、人気、実力ともトップアーティストとしての地位を築いています。

ソロ、ジャズ・トリオ、withストリングスなど自身のグループの他、noon、akiko、青木カレン、鈴木重子、藤原道山、白鳥英美子、上松美香、千住真理子とのコラボレーションなどの演奏、映画音楽、TV-CMの作曲・編曲・演奏など多様な音楽性で活動を展開している。

優美で端正なそのピアノとサウンドはジャズの域を超え、独自の音楽性を確立し、人気、実力派ピアニストとして不動の地位を得ている。

Official site : <http://www.kishino.net>



TOKU (vo, flhg, tp)

日本唯一のヴォーカリスト&フリューゲルホルンプレイヤー

父親の影響でノンジャンルで音楽に親しみ、中学時代にプラスバンドで初めての楽器コルネットを手にする。2000年アルバム「Everything She Said」でSMEよりデビュー。デビュー当初から注目を集め、その年の8月には早くもブルーノート東京に出演。また、アルバムはアジア各国でもリリースされ、積極的に海外での公演もやっている。

また、ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、m-flo、平井堅、Skoop On Somebody、今井美樹、大黒摩季などのアルバムに作家、プレイヤーとして参加。2008年に発売したアルバム「Love Again」は初のDuet SongをExileのATSUSHI氏を迎えて収録。また、2011年3月の東日本大震災の直後に行われた、シンディー・ローパーの国内ツアーにも参加し、話題となる。そして2011年4月27日、本人がずっと温めていた企画「TOKU sings & plays STEVIE WONDER~A JAZZ TRIBUTE FROM ATLANTA」を発売。2015年10月、フランクシナトラの生誕100周年を記念して全曲シナトラのカバーアルバムを発売、そのレベルの高さに各所で大絶賛を浴びる。2017年6月、SHAKE発売。このアルバムはTOKUならではの他ジャンルの様々なアーティストとの交歓を実践しジャンルを超えて一つの繋がりを持ちたいというTOKUの思いが込められている。

Official site : <http://toku-jazz.com>

- ※ 公演内容が一部変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ 車椅子または歩行が困難な方は、開場前にご来場いただき、スタッフにご相談ください。
- ※ りぶら駐車場の無料サービスは2時間までです。



岡崎市図書館交流プラザ

<http://www.city.okazaki.lg.jp/libra>
 〒444-0059
 岡崎市康生通西4丁目71番地
 TEL: 0564-23-3100
 水曜日休館(祝日を除く)
 9:00~21:00

